

FIT終了後の設定変更について

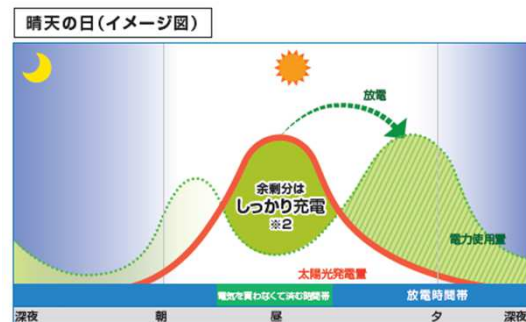
1. FIT終了したらグリーンモードがお得です

FIT終了により、売電価格が安くなり、売電メリットが少なくなります。
太陽光の自家消費を優先するグリーンモードに切替ましょう。

■ グリーンモード

太陽光発電と連携し、環境性を優先した運転を自動で行います。

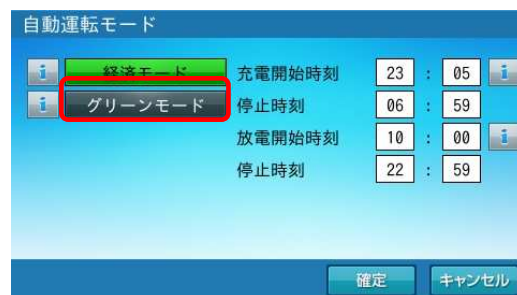
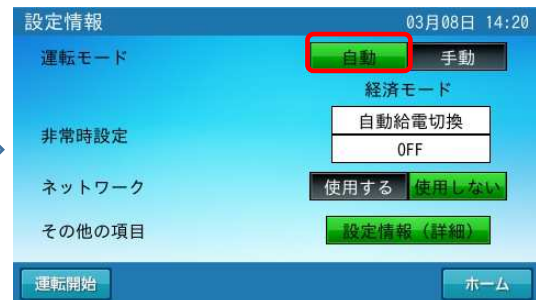
太陽光により発電した電力は家庭内で使用し、余剰分は蓄電システムに充電して夕方から夜、翌朝にかけて使用します。*1【押上げあり】



※1 放電できる時間は、充電した容量や電力使用量によって異なります。
※2 満充電後の余剰分は売電します。

2. グリーンモードへの変更方法

グリーンモードへの切替えはリモコン上で簡単に行えます。



続いて、充電時刻と放電時刻の設定も変更しましょう。 ⇒裏面

3. グリーンモードでの充電時刻と放電時刻の設定

押上有りモデルのグリーンモードは、太陽光発電からのみ充電する仕様になっています。お住まいの地域や季節に応じて充電・放電時間の設定を行ってください。

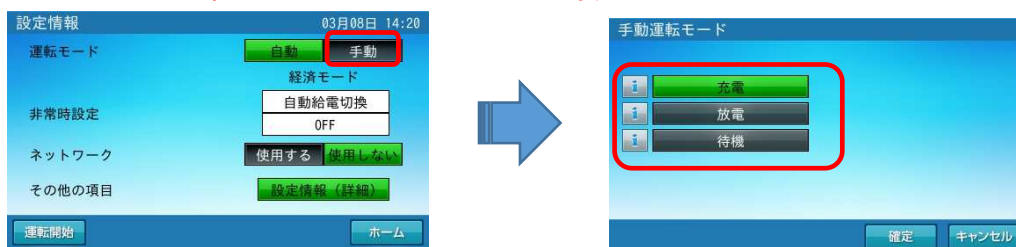
- ①充電開始/停止時刻は、太陽光発電から充電する時間帯です。
お宅の太陽光発電が始まる時間帯に設定してください。
<例：朝から十分な太陽光発電がおこなわれる地域・季節の場合>
 - ・充電開始時刻 ⇒ 7:00
 - ・停止時刻 ⇒ 16:59（放電時間と重ならないように放電開始時刻の1分前）
- ②放電開始/停止時刻は、蓄電した電力を使用する時間帯です。
お客様のライフスタイルに合わせて、夜の使用開始時刻を設定してください。
<例：夜17時から24時ころまで、蓄電した電力を使用したい場合>
 - ・放電開始時刻 ⇒ 17:00
 - ・停止時刻 ⇒ 6:59（充電時間と重ならないように放電開始時刻の1分前）



4. 上級編：翌日の天気予報で夜間電力の活用

翌日、雨や曇りの天気予報が見込まれる場合は、太陽光発電の充電ができないので、システムの夜間電力から蓄電池へ手動で強制充電することで、昼間の高い電力の購入を回避することができます。また、雨天が続いて蓄電システムの充電量が減った場合や、台風の接近時なども、手動で強制充電に切り替えることで蓄電池への充電が可能です。

<例：翌日の天気予報が雨や曇りの場合や、台風接近などで満充電待機したい場合>



※注意：これらの設定方法は、各ご家庭の①電力プラン、②ライフスタイル、③太陽光出力、④家庭負荷、⑤翌日の天気によって大きく変動する場合があります。経済効果を保証するものではありません。
※ESS-SP2SA/ESS-SP2SA3の場合、3.-①の充電時刻は放電時刻に、3.-②の放電時刻は充電時刻に読みかえてください。